



2017.9  
八十二レポート  
HACHIJUNI REPORT  
[営業の中間ご報告]

## ごあいさつ



取締役会長 山浦 愛幸



取締役頭取 湯本 昭一

平素より八十二銀行をご利用、お引立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は昭和6年の創立以来、地域の金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これもひとえにお客さまや株主の皆様、そして地域の皆様の永年にわたるご支援の賜物と深く感謝しております。

当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、平成29年9月期の業績、営業内容をできるだけわかりやすくご紹介するため「八十二レポート2017.9」を作成いたしました。皆様のご参考になれば幸いに存じます。

わが国経済は、海外経済の緩やかな回復に伴い輸出が持ち直したほか、企業の設備投資を中心とした国内需要も改善しました。企業収益や所得・雇用環境においても底堅さが見られ、全体として緩やかな回復基調が続きました。当行の営業基盤である長野県経済においても、国内需要の改善や海外経済の回復を背景に、生産や設備投資は持ち直しの動きが続きました。個人消費は、大型小売店で食料品が堅調に推移したほか、自動車販売も軽自動車の需要が回復し前年を上回りました。一方、公共投資は市町村発注の工事が一服し弱含みしました。住宅投資では貸家需要の伸びがやや鈍化し、新設住宅着工戸数は前年割れとなる月が多くなりました。

こうした経済環境のもと、平成27年度から平成29年度までの3カ年を計画期間とする第30次長期経営計画「地域活力創造銀行への変革」を進めております。地方創生の重要性が高まるなか、「地域活力を創造する」「お客さま利便性を進化させる」「企業力を向上させる」の3つをテーマに掲げ、地域の発展に向けて全力で取り組んでおります。「地域活力を創造する」ことを目指し、計画期間における目標値として掲げた「工場・研究所等の立地件数」および「長野県内創業支援先数」につきましては平成29年9月末で達成することができました。「お客さま利便性を進化させる」取組みとしましては、新営業店端末の全店舗導入が完了し、キャッシュカード類の店頭即時発行も開始しました。引き続き、証券・リース・カード・保険業務等への踏み込みを強化し、事業領域を拡大「企業力を向上させる」取組みも強化してまいります。

皆様からのご期待にお応えできるよう、役職員一丸となって努力してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
平成29年12月

### Profile

名称	株式会社八十二銀行	従業員数	3,232人
本店所在地	〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8	資本金	522億円
電話番号	026(227)1182	発行済株式数	511,103千株
創立	昭和6年8月1日	総資産	9兆904億円
拠点	国内 151店舗 本支店142(長野県内122) 出張所 9(長野県内 9) 店舗外現金自動設備 227カ所 海外 支店1(香港) 駐在員事務所 4 (大連、上海、バンコク、シンガポール)	純資産	7,108億円
		預金残高	6兆4,056億円
		貸出金残高	4兆9,551億円
		総自己資本比率 (国際統一基準)	連結21.27%(速報値) 単体20.36%(速報値)

(平成29年9月30日現在)

注:本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

### Contents

ごあいさつ	①
経営方針	②
地域活力創造に向けた取組み	③
CSR(企業の社会的責任)への取組み	④
法人のお客さまへ	⑤
個人のお客さまへ	⑦
業績ハイライト	⑨
経営の健全性	⑩
営業拠点のご案内	⑫
連結中間決算の状況	⑬
単体中間決算の状況	⑭
株式のご案内	⑮

## 経営方針

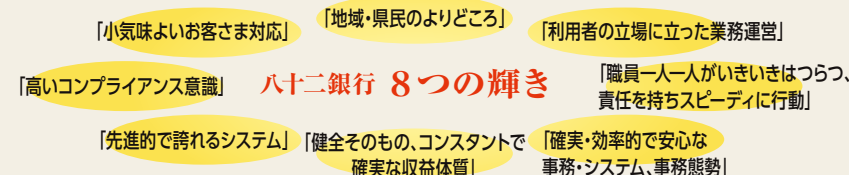
経営理念 『健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する』

八十二銀行のありたい姿(長期ビジョン) 『日本の真ん中で輝いている銀行』

経済のグローバル化・高度化への対応、八十二銀行ならではの強みの確立、コンプライアンス・内部統制の強化など経営の質向上、職員がいきいきと輝く組織づくりなど、総合的な企業価値の向上に取組み、永続的に発展する銀行を目指します。

### 8つの輝き

八十二銀行の“輝く姿”を、お客さま、地域、財務、組織風土などの視点から捉え、8つの輝きとして掲げます。



長期的経営指標

ROE:5%以上

第30次長期経営計画 『地域活力創造銀行への変革』  
(平成27年4月～平成30年3月)

当行は、平成27年4月より平成30年3月までの3年間を計画期間とする第30次長期経営計画「地域活力創造銀行への変革」を策定し、取り組んでいます。

### 地域活力を創造する

- 地域産業競争力の強化
- まちづくり・ひとづくりへの貢献

### お客さま利便性を進化させる

- お客さま接点の強化
- お客さま対応力の向上

### 企業力を向上させる

- 収益源の多様化
- 環境経営の深化
- 従業員の活躍フィールド拡大

目標とする経営指標(平成30年3月)

当期純利益(単体) **200億円**

連単倍率(当期純利益) **1.2倍**

株主還元率 **40%**



# 地域活力創造に向けた取組み

八十二銀行グループは、地域産業の競争力強化のため、地域の発展につながる取組みを行っています。金融・非金融両面から地域の「ひとづくり」と「まちづくり」に貢献していきます。

## 地域の「ひとづくり」への取組み

### 地方創生応援募債

教育・文化施設への学術用品などの寄贈と、お客さまの資金調達を組み合わせた地方創生応援募債を通じて、次世代を担う人材育成を支援しています。



取扱実績 30件 / 18.2億円 (平成29年度上期)

### 次世代経営者セミナー

平成29年5月、県内の若手経営者33名を対象に実施した次世代経営者セミナーの修了式を信州大学松本キャンパスで行いました。信州大学経済学部が開発した教育プログラムを採用し、経営に関する知識習得を行うもので、本セミナーを通じて地域経済を担う人材育成を支援しました。



## 地域の「まちづくり」への取組み

### 公共施設マネジメント

地方公共団体では、公共施設の老朽化や人口減少による施設利用の需要低下などの課題に対応するため、民間ノウハウを活用した公共施設運営や整備などが必要となっています。当行は、こうした公共施設の効率的な管理や有効活用といった地方公共団体のマネジメントをサポートするため、八十二リース株式会社などと連携し不動産リース手法を応用した仕組みの紹介を開始しました。

#### 相談フロー



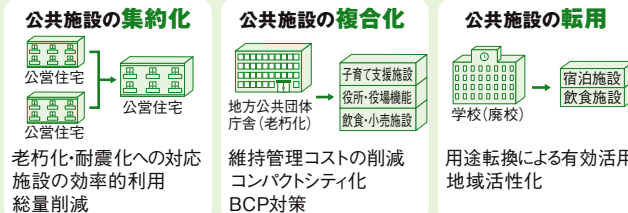
リース手法を活用し、公共施設のマネジメントを地方公共団体に代わって手掛ける仕組みです

地方公共団体に代わって民間が施設の所有や整備を行うため、財政負担の軽減・平準化が図られます。

当行では、リース手法の活用のほかPFI\*など民間資金を活用した提案を実施しています。公共施設の将来を見据えた支援を通じて「まちづくり」に積極的に取り組んでいきます。

\*PFI(Private Finance Initiative):公共施設の整備・運営を民間の資金や経営能力を活用して行う手法

#### 活用イメージ



# CSR(企業の社会的責任)への取組み

当行は、「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念に掲げ、役職員一人ひとりがお客さま・地域社会の発展に貢献し、企業の社会的責任を果たしていくことが使命であると考えています。

## 生物多様性保全活動

長野県内の森林を整備する「八十二の森」活動、「特定外来生物アレチウリの駆除活動」など、生物多様性を保全する活動を積極的に行っています。

平成29年度上期、「八十二の森」活動は5ヵ所6回の活動で延べ572名、アレチウリの駆除活動は6ヵ所11回の活動で延べ223名の役職員が参加しました。



飯田市「大平峠県民の森」

## 災害備蓄用パンを寄贈

平成29年6月、東日本大震災以降本支店に備蓄していた災害備蓄用のパン8,212缶を、特定NPO法人フードバンク信州様へ寄贈しました。

賞味期限到来に伴う入れ替えに際し、有効活用方法を長野県健康福祉部に相談したところ、生活困窮者支援を行っている特定NPO法人を紹介していただきました。



## 金融経済教育

地域貢献の一環として、小・中・高等学校の児童・生徒の職場見学を積極的に受け入れています。

金融経済の仕組みや銀行の社会的役割などについての講義のほか、模擬紙幣を用いた紙幣の数え方の体験などを通じ、金融に関する知識や情報を正しく理解し主体的に判断するための金融リテラシー向上に貢献していきます。



## 八十二留学生奨学金制度

教育分野における社会貢献と、取引先企業の海外事業展開を見据えた国際的な人脈づくりを目的に、平成24年度に創設しました。長野県内の大学院へ進学を志す諸外国からの留学生に対し、2年間奨学金を支給しています。

奨学生 延べ 17名 (平成29年9月末時点)

菁菁塾(せいせいじゅく: 職員向け自己啓発用講座)では、中国出身留学生による中国語講座を開催。平成28年度より一般のお客さまも参加いただけるようになりました。



# 法人のお客さまへ

お客さまの経営パートナーとして、さまざまなライフステージに合わせた経営課題解決のお手伝いをしています。「地域活力創造銀行」を目指し、お客さまの事業をサポートしていきます。

## 創業・開業期

### 起業・創業支援

起業・創業に関心のあるお客さまをワンストップかつスピーディーに支援しています。平成28年7月に地域特化型購入型クラウドファンディング「CF信州」の取扱いを開始し、長野県の地域活性化に取り組む事業者をサポートしています。またフェイスブック、グループでのSNS広告を開始し、長野県内での創業を希望する県内外のお客さまを幅広く支援しています。



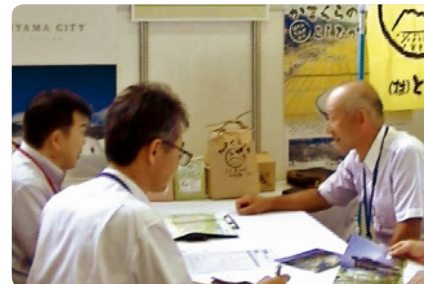
長野県内起業・創業支援件数 127件 (平成29年度上期)

## 成長・安定・成熟期

### 地域産業成長支援

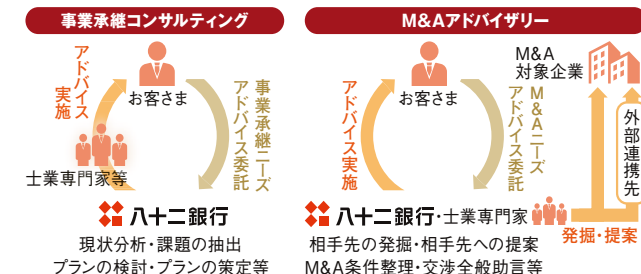
お客さまの新規事業展開や販路拡大を支援するため、さまざまなビジネスマッチングの機会を提供しています。

食の分野では、各種商談会の企画・開催を通じ、お客さまの支援に取り組んでいます。平成29年7月には、「ビジネス・サミット2017～東海・北陸『食』の大交流会～」に共催参加し、当行の出演企業9社の商談をサポートしました。



### 事業承継・M&A

後継者への円滑な自社株式の承継や、戦略的な事業の選択と集中など、高度化する事業承継とM&Aニーズにお応えするため、専門的なサポートチームがワンストップでお客さまの課題解決をお手伝いしています。



## 経営改善・事業再生期

### 経営改善・事業再生支援

経営に課題を抱えるお客さまに対して、融資部企業支援室・調査グループと営業店が一体となり、経営改善計画の策定と実行を積極的に支援しています。

また、厳しい事業環境下にある中小企業の事業再生支援を強化すべく、平成28年6月に「信州みらい応援2号ファンド」を設立し、経営改善をサポートしています。



## グローバル化への対応

### 資金調達のサポート

海外進出にあたっての資本金や、現地法人の設備投資、貿易代金の決済などお客さまのグローバル展開に伴う資金ニーズに、さまざまな方法で対応しています。

香港支店では、タイバーツ建、人民元建融資の取扱いなど、東南アジアや中国本土のお客さまに向けた直接融資(クロスボーダー融資)にも対応しています。



### 当行のアジア拠点と提携銀行



### アジア各国で最新情報を提供

アジア各国でセミナーや商談会を開催し、現地の最新情報の提供や販路開拓支援に取り組んでいます。

国内ではJETRO(日本貿易振興機構)やJICA(国際協力機構)と連携し、グローバルな事業展開に必要な外国人材の雇用や海外での安全対策に関するセミナーを開催しました。



### 〈主な取組み〉

開催年月	開催地	開催内容
平成29年5月	タイ・バンコク	タイ日系企業ビジネス交流会
6月	長野市	グローバル人材活用セミナー
6月	香港	香港・華南地区 日系企業ビジネス交流会
7月	中国・上海 / 蘇州 / 大連	中国主要都市ビジネスセミナー
9月	中国・大連	地方銀行合同ビジネス商談会
9月	長野市	海外安全対策セミナー & 新輸出大国コンソーシアム事例紹介セミナー
9月	ベトナム・ホーチミン / フィリピン・マニラ	長野県観光セミナー・商談会



# 個人のお客さまへ

お客さま一人ひとりのライフステージに合わせた商品・サービスのご提供を通じ、生涯にわたる良きパートナーを目指します。

## 進学・就職 結婚・出産 住宅取得

### 「新・八十二ゆとりプラン個人型」

iDeCo(個人型確定拠出年金)はセカンドライフに向けた資金を積み立てていただく新しい年金制度です。掛金が全額所得控除の対象になるなど節税が期待できます。当行では20商品の中から自由に商品を選んでいただけます。

ご加入をご検討の際には、当行ホームページから「iDeCo シミュレーション」で節税メリットをご確認いただけます。



### つみたてNISA

平成30年1月にスタートする「つみたてNISA」は、投資経験のない方も少額から資産形成を始めていただける有効な手段です。当行では、制度の特性を勘案して、購入時手数料無料かつ低コストで運用できる商品を「つみたてNISA 専用ファンド」として7ファンドをご用意しました。平成29年10月より口座開設受付を開始し、幅広く制度のご案内をしていきます。



## 子ども進学

### 教育カードローン

入学金や授業料、仕送りなどお子さまの卒業までに必要な教育資金を、必要な時にその都度、ATMやインターネットバンキングでお借入れいただけます。

お仕事などで平日のご来店が難しいお客さまにもご利用いただきやすくなりました。



## 退職・年金受取・相続

### 各種セミナー・個別相談会

個人のお客さま向けセミナーを各地で開催しています。資産運用をはじめ、生活設計・家計見直しのヒント、相続や贈与など多彩なテーマで行っています。平成29年度上期は57回開催し、延べ約800名のお客さまにご参加いただきました。

各地の82プラザでは専門家による「個別相談会」を開催し、お客さまの多様なニーズにお応えしています。



## ~もっと便利に! もっと使いやすく!~

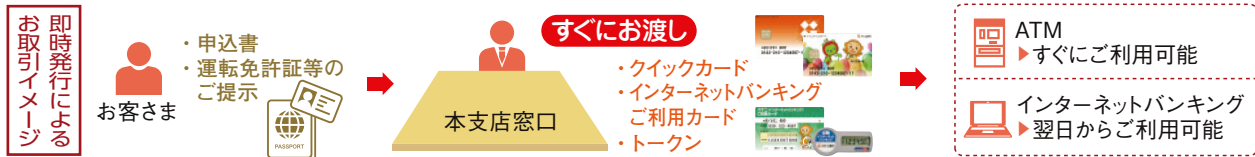
### クイックカード等の即時発行

クイックカード等を窓口で新規にお申込み、または再発行される場合、その場でクイックカード等をお受け取りいただくことができるようになりました。

これにより、お客さまはお手続き後すぐにカードをお使いいただけるようになり、一層便利になりました。

- 即時発行の条件**
- ①個人・個人事業主のお客さま
    - ・窓口でご本人がお手続き
    - ・顔写真付本人確認書類をご提示
  - ②法人のお客さま
    - ・窓口で代表者の方がお手続き
    - ・代表者の方の顔写真付本人確認書類をご提示

- 即時発行の対象カード等**
- ①八十二ICクイックカード
  - ②個人向けインターネットバンキングご利用カード
  - ③法人向けネットEBサービスご利用カード
  - ④ワンタイムパスワード生成機(トークン)
- ※上記以外のカード等は、郵送でお届けします。



### ATM機能のレベルアップ

「硬貨によるお引出し」「投入金額の一部のみのご入金」「振込時の依頼人名変更」など、新機能を加えました。

また、ATM 初期画面のキャラクターを、当行オリジナルキャラクター「はちの8ちゃん」と長野県PRキャラクター「アルクマ」に変更しました。



### WEB契約の取扱開始

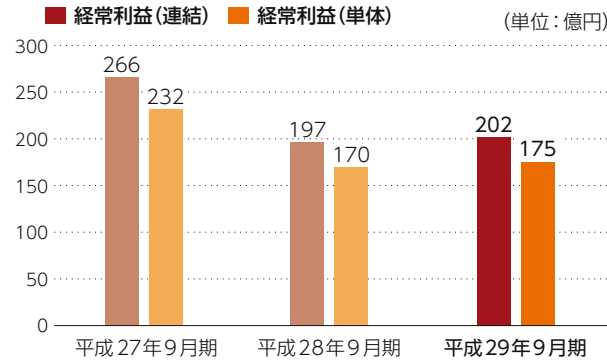
「はちのフリーローン」と「カードローン<はちののかん太くんカード>」について、お申込みからご契約までご来店・書類記入不要でお手続きいただける「WEB契約」を導入しました。

平日のご来店が難しいお客さまのニーズにお応えしています。



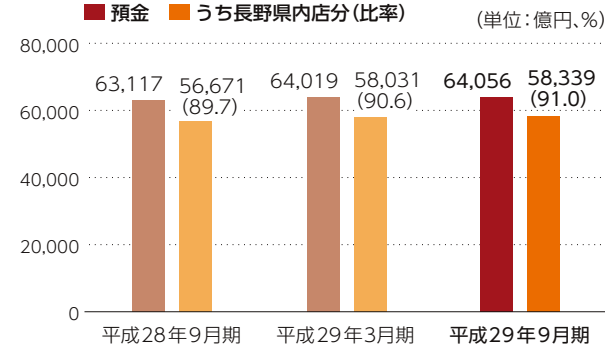
# 業績ハイライト

## ● 経常利益の状況



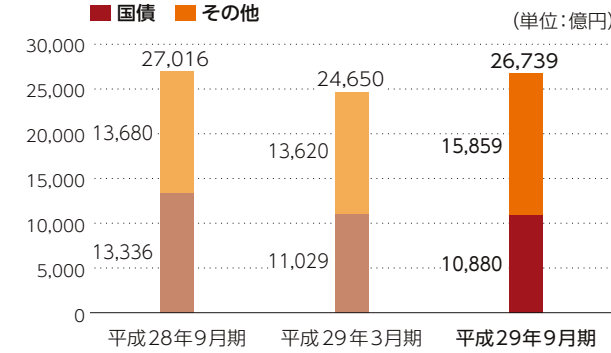
貸倒引当金が繰入となったものの、実質業務純益が増加したことなどにより、単体経常利益は前年同期比4億円増加しました。

## ● 預金の状況



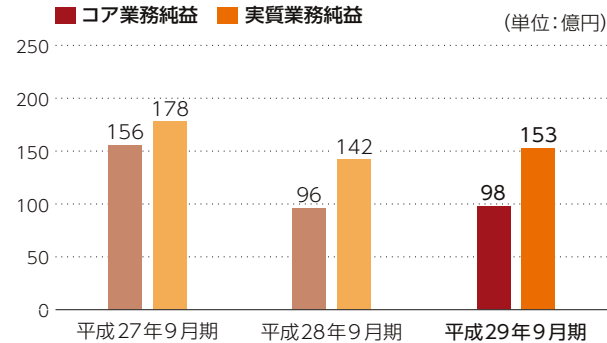
公金預金は減少したものの、個人・法人預金が増加したことから、前期末比36億円増加し、6兆4,056億円となりました。

## ● 有価証券残高の状況



国債は減少したものの、他の債券及び外国証券の増加などにより、前期末比2,089億円増加し、2兆6,739億円となりました。

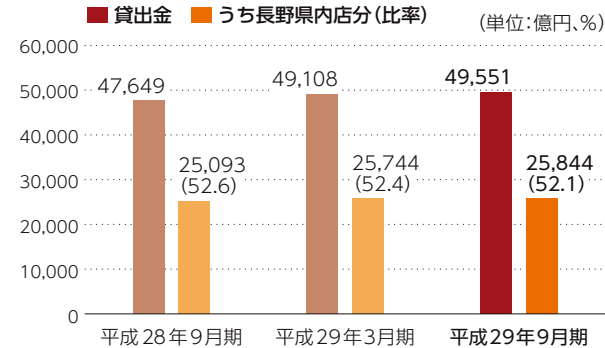
## ● コア業務純益・実質業務純益の状況



経費の減少などによりコア業務純益は前年同期比1億円、さらに債券売却益の増加により実質業務純益は同11億円増加しました。

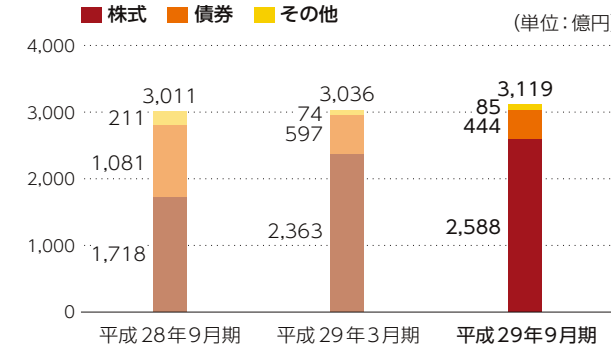
[コア業務純益] 一時的な要因に左右されない銀行の本来業務の利益です。  
[実質業務純益] コア業務純益に国債等債券損益を加えたものです。

## ● 貸出金の状況



事業性・消費性資金が増加したことから、前期末比442億円増加し、4兆9,551億円となりました。

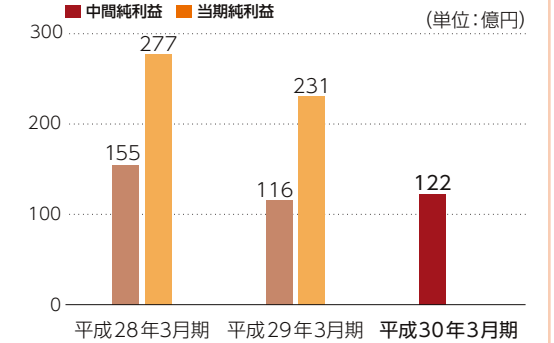
## ● 有価証券評価損益の状況



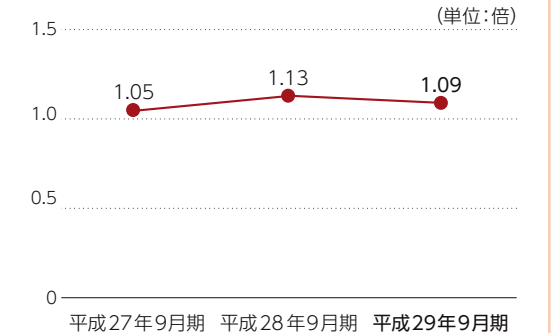
債券評価益は減少したものの、相場の上昇による株式評価益などの増加により前期末比83億円増加し、3,119億円となりました。

## 目標とする経営指標(平成30年3月)

### ● 当期純利益(単体) 200億円



### ● 連単倍率(純利益) 1.2倍

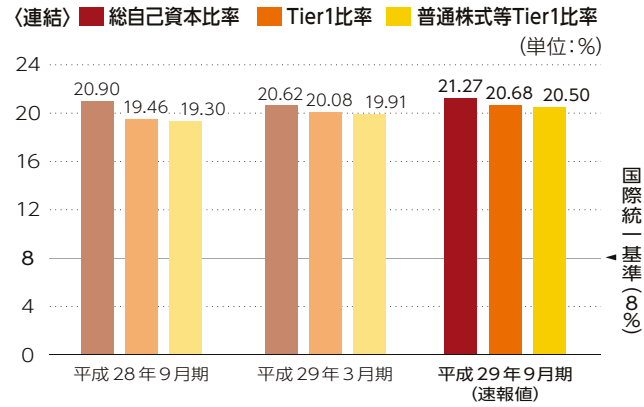


[連単倍率] 親会社の単独決算の利益に対する連結決算の利益の割合です。

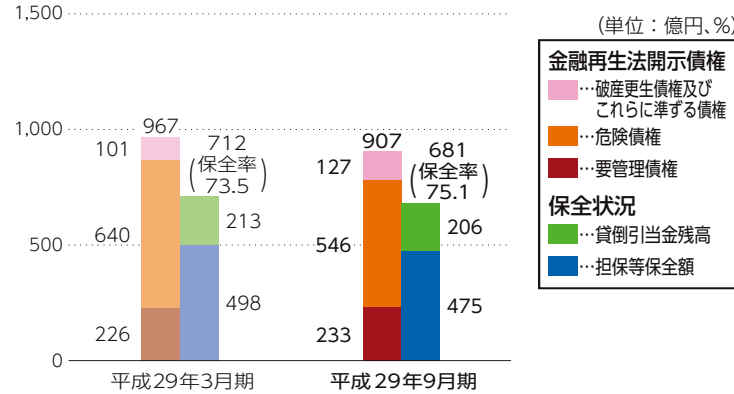
# 経営の健全性

## ● 連結自己資本比率 (国際統一基準) の状況

自己資本比率は金融機関の健全性を測る指標のひとつです。バーゼルⅢに基づく自己資本比率規制 (国際統一基準) では、総自己資本比率が8%以上必要とされています。当行の総自己資本比率 (平成29年9月期、速報値) は、連結で21.27%となり、規制水準である8%を大きく上回っています。



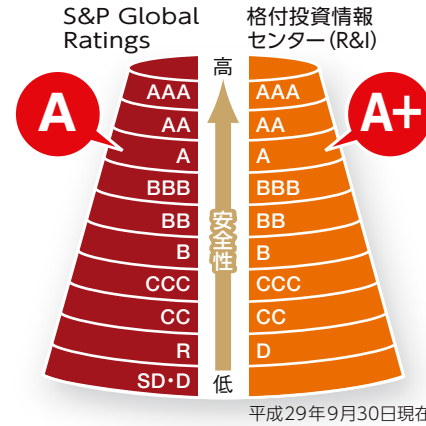
## ● 金融再生法開示債権と保全状況



(注) 1. 金融再生法開示債権は対象が貸出金のほか、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、保証付私募債となっています。なお、部分直接償却は実施していません。  
2. 上記の開示額は、差入れられた担保などによる回収を考慮していませんので、当行の将来の損失をそのまま表すものではありません。

## ● 格付

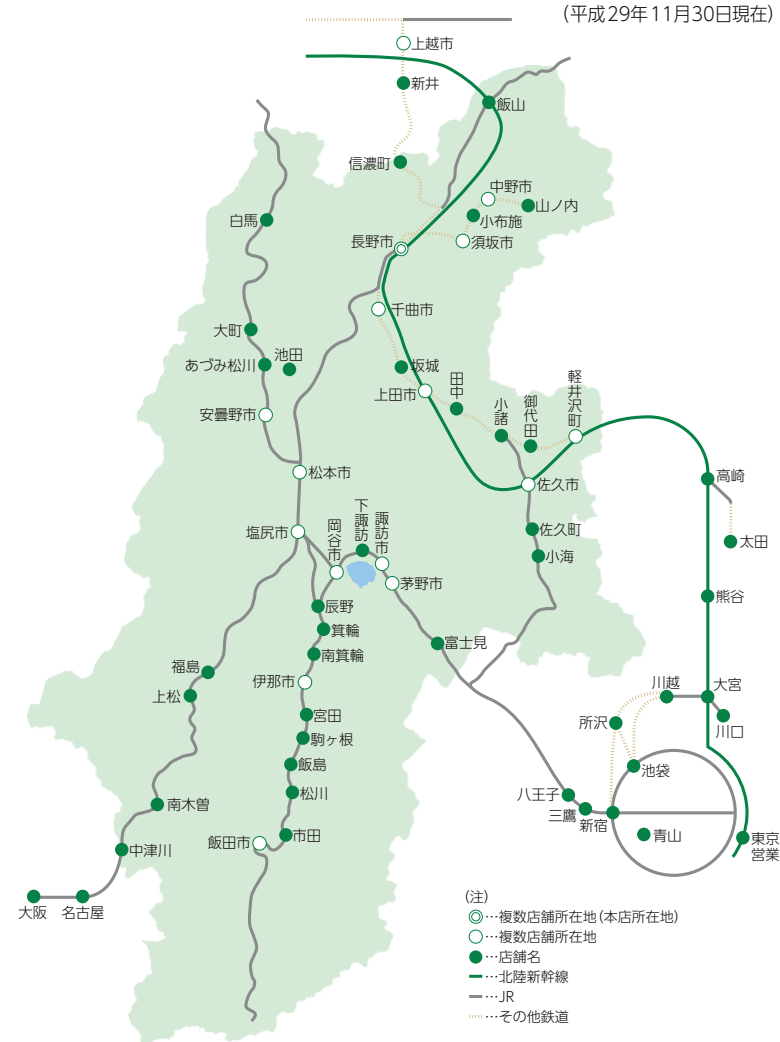
当行は長期格付について、S&P Global Ratingsから「A」(金融債務を履行する能力は高い)を、格付投資情報センター(R&I)から「A+」(信用力は高く、部分的に優れた要素がある)の格付を取得しており、当行に対する高い評価を示しています。



	平成29年3月期	平成29年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	101 (0.20)	127 (0.25)
危険債権	640 (1.28)	546 (1.08)
要管理債権	226 (0.45)	233 (0.46)
小計	967 (1.94)	907 (1.80)
正常債権	48,744	49,238
総与信残高	49,711	50,146

( )内は、総与信残高に占める比率

# 営業拠点のご案内



## 複数店舗所在地一覧

- 長野市  
本店営業部、長野、県庁内、大門町、昭和通営業部 (82プラザ)  
長野駅前、長野東、七瀬、吉田 (三才 [出])、長野南、長野北  
東和田、長野市役所、浅川若槻 (82プラザ)、朝陽、風間、安茂里  
豊野、新町、若穂、南長池、更北、川中島、松代、篠ノ井  
今井 (82プラザ)
- 須坂市  
須坂 (須坂駅前)、須坂市役所 [出]
- 中野市  
中野、中野西
- 千曲市  
屋代、稲荷山、上山田、戸倉
- 上田市  
上田、上田市役所 [出]、花園 [出]、上田東 (82プラザ)、丸子  
三好町、塩田、川西、神科、真田
- 軽井沢町  
中軽井沢、軽井沢
- 佐久市  
岩村田、佐久市役所 [出]、中込、野沢、佐久中央 (82プラザ)  
臼田、望月
- 松本市  
松本営業部、松本市役所 [出]、松本駅前、深志、清水 [出]  
南松本 (82プラザ)、村井、平田、寿、信州大学前、惣社  
西松本、笹賀、つかま、浅間温泉、波田、梓川  
ローンプラザ松本
- 安曇野市  
明科、三郷、豊科、穂高、ローンプラザ安曇野
- 塩尻市  
塩尻、塩尻西、広丘 (82プラザ)
- 岡谷市  
岡谷 (82プラザ)、岡谷市役所 [出]、長地
- 諏訪市  
諏訪 (上諏訪駅前)、諏訪南 (82プラザ)
- 茅野市  
茅野、茅野駅前
- 伊那市  
伊那、伊那市役所 [出]、伊那市駅前、伊那北、高遠  
ローンプラザ伊那
- 飯田市  
飯田、飯田駅前、伝馬町 (82プラザ)、八幡 (飯田東)、天竜峡  
上郷、県、伊賀良
- 上越市  
高田、直江津、湯町、ローンプラザ上越

## 海外拠点

香港支店、大連駐在員事務所、上海駐在員事務所  
バンコク駐在員事務所、シンガポール駐在員事務所



# 平成29年9月期 連結中間決算の状況

## ● 中間連結貸借対照表(平成29年9月30日現在)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	1,140,930	預金	6,394,367
コールローン及び買入手形	19,291	譲渡性預金	578,947
買入金銭債権	60,324	コールマネー及び売渡手形	150,000
特定取引資産	14,505	売現先勘定	16,759
金銭の信託	61,338	債券貸借取引受入担保金	686,111
有価証券	2,670,619	特定取引負債	4,712
貸出金	4,905,967	借入金	304,598
外国為替	32,930	外国為替	1,347
リース債権及びリース投資資産	63,907	その他負債	124,025
その他資産	126,781	退職給付に係る負債	12,162
有形固定資産	37,741	睡眠預金払戻損失引当金	685
無形固定資産	5,348	偶発損失引当金	1,050
退職給付に係る資産	24,011	特別法上の引当金	8
繰延税金資産	2,125	繰延税金負債	79,237
支払承諾見返	32,023	支払承諾	32,023
貸倒引当金	△ 45,755	<b>負債の部合計</b>	<b>8,386,037</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	52,243
		資本剰余金	34,484
		利益剰余金	436,802
		自己株式	△ 3,017
		<b>株主資本合計</b>	<b>520,512</b>
		その他有価証券評価差額金	218,938
		繰延ヘッジ損益	△ 4,414
		退職給付に係る調整累計額	3,159
		その他の包括利益累計額合計	217,684
		<b>新株予約権</b>	<b>274</b>
		非支配株主持分	27,583
		<b>純資産の部合計</b>	<b>766,054</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>9,152,092</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>9,152,092</b>

## ● 中間連結損益計算書(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
経常収益	91,055
資金運用収益	39,103
(うち貸出金利息)	(23,523)
(うち有価証券利息配当金)	(14,166)
信託報酬	1
役務取引等収益	10,188
特定取引収益	1,127
その他業務収益	35,452
その他経常収益	5,182
経常費用	70,843
資金調達費用	4,789
(うち預金利息)	(1,301)
役務取引等費用	3,500
その他業務費用	27,805
営業経費	31,671
その他経常費用	3,077
経常利益	20,211
特別利益	0
特別損失	522
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>19,688</b>
法人税、住民税及び事業税	6,490
法人税等調整額	△ 768
法人税等合計	5,721
<b>中間純利益</b>	<b>13,967</b>
非支配株主に帰属する中間純利益	562
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>13,405</b>

### 八十二銀行グループ

- ◆ 八十二ビジネスサービス(株)(事務代行業務)
- ◆ 八十二スタッフサービス(株)(労働者の派遣業務)
- ◆ 八十二証券(株)(有価証券の売買等)
- ◆ 八十二信用保証(株)(信用保証業務)
- ◆ やまびこ債権回収(株)(債権管理回収業務)
- ◆ 八十二リース(株)(リース業務)
- ◆ (株)八十二ディーシーカード(クレジットカード業務)
- ◆ 八十二システム開発(株)(システム開発)
- ◆ 八十二キャピタル(株)(投資業務)
- ◆ 八十二オートリース(株)(リース業務)

# 平成29年9月期 単体中間決算の状況

## ● 中間貸借対照表(平成29年9月30日現在)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	1,127,865	預金	6,405,666
コールローン	19,291	譲渡性預金	594,097
買入金銭債権	60,324	コールマネー	150,000
特定取引資産	14,505	売現先勘定	16,759
金銭の信託	61,338	債券貸借取引受入担保金	686,111
有価証券	2,673,984	特定取引負債	4,712
貸出金	4,955,109	借入金	296,623
外国為替	32,930	外国為替	1,347
その他資産	99,945	その他負債	103,762
有形固定資産	29,867	未払法人税等	4,712
無形固定資産	5,021	リース債務	1,631
前払年金費用	17,243	資産除去債務	16
支払承諾見返	32,023	その他の負債	97,402
貸倒引当金	△ 38,960	退職給付引当金	9,969
		睡眠預金払戻損失引当金	685
		偶発損失引当金	1,050
		繰延税金負債	76,811
		支払承諾	32,023
		<b>負債の部合計</b>	<b>8,379,620</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	52,243
		資本剰余金	32,570
		資本準備金	29,609
		その他資本剰余金	2,961
		利益剰余金	415,126
		利益準備金	47,610
		その他利益剰余金	367,515
		固定資産圧縮積立金	920
		別途積立金	344,600
		繰越利益剰余金	21,995
		自己株式	△ 3,017
		<b>株主資本合計</b>	<b>496,921</b>
		その他有価証券評価差額金	218,088
		繰延ヘッジ損益	△ 4,414
		評価・換算差額等合計	213,674
		<b>新株予約権</b>	<b>274</b>
		<b>純資産の部合計</b>	<b>710,870</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>9,090,490</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>9,090,490</b>

## ● 中間損益計算書(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
経常収益	71,073
資金運用収益	38,986
(うち貸出金利息)	(23,480)
(うち有価証券利息配当金)	(14,119)
信託報酬	1
役務取引等収益	8,471
特定取引収益	78
その他業務収益	18,375
その他経常収益	5,159
経常費用	53,549
資金調達費用	4,766
(うち預金利息)	(1,302)
役務取引等費用	4,497
その他業務費用	12,765
営業経費	29,111
その他経常費用	2,408
経常利益	17,524
特別利益	0
特別損失	522
<b>税引前中間純利益</b>	<b>17,001</b>
法人税、住民税及び事業税	5,443
法人税等調整額	△ 642
法人税等合計	4,801
<b>中間純利益</b>	<b>12,200</b>



# 株式のご案内

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日
- **定時株主総会** 毎年6月に開催いたします。
- **1単元の株式数** 100株
- **単元未満株式の買取・買増制度** 単元未満株式(1~99株)について、買取制度および買増制度を実施しております。単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、また、特別口座に記録されている場合は右記までお問い合わせください。
- **配当金** 期末配当金は定時株主総会終了後、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、それぞれ期末配当金・中間配当金基準日の株主等にお支払いいたします。
- **基準日** 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日  
そのほか必要があるときは、基準日をあらかじめ公告いたします。
- **公告方法** 電子公告により当行ホームページに掲載いたします。  
公告掲載URL <https://www.82bank.co.jp/>  
(事故等やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、信濃毎日新聞及び日本経済新聞に掲載いたします。)

## 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(注)株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて変更しております。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## お電話でのお問い合わせ・ご相談

八十二のハローはち  
電話 **0120-82-8682** (通話料無料)

音声ガイダンスにより操作してください。  
★携帯電話からもご利用いただけます。

- ◆ **商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談**  
サービス内容により受付時間が異なります。
- ◆ **当行へのご意見・ご要望・苦情**(お客さま相談室)  
受付時間/9:00~17:00  
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
- ◆ **金融円滑化相談時の苦情**(金融円滑化苦情窓口)  
受付時間/9:00~17:00  
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)

銀行に関するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口(金融分野における裁判外紛争解決制度)

### ■全国銀行協会相談室

電話 0570-017109 または 03-5252-3772  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:00

### ■証券・金融商品あっせん相談センター

電話 0120-64-5005  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:00

### ■信託協会信託相談所

電話 0120-817335 または 03-6206-3988  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:15



平成29年12月発行/編集:八十二銀行 企画部

〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8 電話(026) 227-1182  
<https://www.82bank.co.jp/>

